

令和8年度瀬戸内さかなブランド化推進業務 企画提案書等作成要領

広島県が実施する令和8年度瀬戸内さかなブランド化推進業務に関し、プロポーザル参加者が企画提案書を作成するために必要な事項は次のとおり。

「令和8年度瀬戸内さかなブランド化推進業務委託仕様書」（以下「仕様書」という。）の趣旨に沿って提案すること。

1 提出書類

- (1) 企画提案書 正本1部、副本7部
 - ア 企画提案申込書（表紙）【様式1】
 - イ 企画提案書【任意様式】
- (2) 類似業務の実績【任意様式】 正本1部、副本7部
- (3) 業務委託見積書 正本1部、副本7部
 - ア 価格提案書（見積書）【任意様式】
 - イ 内訳書【様式2】

2 作成要領

(1) 一般事項

ア 用紙は、原則A4版両面使用とすること。ただし、図表等の表現の都合上、用紙及び記述の方法を一部変更することは差し支えないものとする。

イ ページ番号は目次を除き通し番号とし、各ページの下部中央に印字すること。

ウ 審査の公正を期すため、企画提案書、企画提案作品の副本7部には、会社名、住所、ロゴマークなど、プロポーザル参加者を特定できる表示を付してはならない。

なお、業務実施スタッフ体制図などには、プロポーザル参加者名を「当社」と記載すること。

エ 企画提案の内容については、他からの無断転用を禁止とする。

(2) 提案書について

ア 企画提案書の作成にあたっては、次の内容を踏まえて提案すること。

目的	ひろしまの美味しいイメージの向上によって、ひろしまブランドを強化するために、瀬戸内さかなのブランド化に取り組む。
目指す姿	瀬戸内の多彩な旬のさかなが、広島を代表する食材となり、四季を味わえる料理として食べられることが、県民の誇りとなり、また、旅の楽しみの一つとなって、観光客の来訪や再来訪の動機となっている。
これまでの取組	<ul style="list-style-type: none">・また、お客様の価値を起点に料理人(飲食店)・市場関係者・漁業者を繋ぐバリューチェーン構築のため、各者が各々の役割を発揮し、連携して、瀬戸内さかなのブランド化に取り組める推進体制を作り、稼働した。・ブランド化に向け、瀬戸内さかなを使ったこだわりの料理とブランドストーリーを、お客様とのコミュニケーションやシンボルマークを通して、価値伝達できる店舗づくりに取組み、昨年度までで計48店舗と共創関係ができた。・県内でこだわりを持つ漁業者を「ひろしまこだわり漁師」として魅力発信するとともに、卸売2社と協働して、こだわり漁師に焦点を当てた特別競りを毎週金曜日に定期開催した。

課題	<p>1. 体験価値づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・お客様に瀬戸内さかなバリューチェーン全体の価値を実感・体感していただき、瀬戸内さかなを他者にお勧めしたくなるような共感店舗づくりを進める必要がある。 ・こだわり漁師の魚が安定的に供給されている共感店舗の創出を目指し、こだわり漁師の特別競りを継続するとともに、市場関係者（仲卸、小売業者）や共感店舗への価値の理解を進めていく必要がある。 <p>2. 情報価値づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・瀬戸内さかなの認知向上のため、県内でのパブリシティを積極的に確保しつつ、マスメディアやオウンドメディアを組み合わせながら発信を強化する必要がある。
ターゲット	<p>食のリテラシーが高く、発信力の高い人 （例えば、食の関心の高い30～40代の女性や企業の広島支店の幹部など）</p>
取組方針	<ul style="list-style-type: none"> ・共感店舗において、こだわり漁師から始まる瀬戸内さかなバリューチェーン全体の価値を実感できるように連携体制を強化し、他者への波及構造を創出することに注力する。 ・情報の露出や企画の実施は、おいしい広島プロジェクトに関連する業務の実施時期を考慮して、県と協議の上で決定すること。

イ 企画提案書【任意様式】

(2)や仕様書を参照の上、次の事項について記載した企画提案書を作成すること。

(ア) 基本方針

- ・当該業務推進にあたっての提案者の基本的な考え方及び達成水準以上の成果を創出するための取組方針を記載すること。

(イ) 共感店舗による顧客価値の創出に関する提案

- ・今年度、新たに12店舗程度の共感店舗を獲得するために、店舗の拡大プロセス、業務執行体制を明確にすること。
※対象店舗については、契約後、双方で協議のうえ決定すること。
- ・瀬戸内前鮪の取組の方針について提案すること。
- ・瀬戸内さかな料理の提供について、店舗の盛り上げ促進及びお客様への良質な体験価値の創出に繋がる企画を提案すること。

(ロ) こだわり漁師の魚の価値理解と流通強化に関する提案

- ・こだわり漁師の魚について、市場関係者（仲卸、小売業者）や飲食店に対して、価値の理解浸透を図るための提案を行うこと。
- ・特別競りに関して、実施状況の把握方策、関係者間の情報共有、特別競り以外の日の流通方策について提案すること。
- ・本事業に参加するこだわり漁師の増加に向けた取組の支援方針を提案すること。

(ハ) 体験会に関する提案

- ・体験会の実施スケジュールについて提案すること。
- ・飲食店による体験会の自主開催促進に向けた方針を提案すること。

(オ) 仲間づくりに関する提案

・漁業者、市場関係者、料理人などステークホルダー間で取組の進捗や課題を共有する体制づくりを提案すること。

(カ) 情報発信に関する提案

・瀬戸内さかなの認知度を高め、評判を広げるために、ステークホルダーの活動に焦点を当てた露出を目指し、パブリシティの獲得を図ること。

・瀬戸内さかなの魅力や漁業者、市場関係者、飲食店のこだわりを伝えるために、ホームページや SNS の発信に効果的なコンテンツがあれば提案すること。

・消費者視点で魅力ある情報と影響力・知見のあるインフルエンサーを活用した効果的な発信手法を提案すること。

(キ) コミュニケーションツールの制作に関する提案

・瀬戸内さかなの価値を効果的に伝えるため、各ステークホルダーの取組に活用できる支援ツールを提案すること。

※既存の青札やこだわり漁師札などを含むことも可能。

(ク) 実施体制

・業務の責任者、副責任者を記載すること。

・実施体制と役割分担を記載すること。特に、バリューチェーンを整えるプロデューサー、共感店舗を創る（営業担当）、顧客の現状を把握・分析するマーケター、WEB サイトを設計・制作する（WEB デザイナー）、オフィシャル素材の撮影・取材者など、業務を着実に実行できる体制に関する提案をすること。

(ケ) その他自社の強み等を活かした提案（自由提案）

・本事業が、より効果を生むために、自社の強み等を活かした創意工夫、熱意のある提案があれば提案すること。

※このたびの予算の範囲内で実施可能なものを記載すること。（予算の範囲を超える提案は認めない）

ウ 類似業務の実績【任意様式】

過去3年以内に、当該業務に類似する業務実績がある場合は、記載すること。

エ 令和8年度瀬戸内さかなブランド化推進業務委託見積書【任意様式】

業務を実施するために必要な経費を記載した価格提案書（見積書）とその内訳書【様式2】を提出すること。下記の項目ごとに内訳を整理すること。

- ・共感店舗における顧客価値の創出
- ・こだわり漁師の魚の価値理解と流通強化
- ・体験会の実施
- ・仲間づくり
- ・情報発信
- ・コミュニケーションツールの制作・配布等

3 審査方法

提出された、2(2)のイ企画提案書、ウ類似業務の実績、エ令和8年度瀬戸内さかなブランド化推進業務委託見積書を「令和8年度瀬戸内さかなブランド化推進業務評価基準」により評価する。